

PC建築部会長

小山 裕康

トヨタT&S建設株式会社
代表取締役社長

2021年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員各社の皆様方には、平素よりPC建築部会の活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症により、世界中が我々の想像を超える状況となりました。特に、社会生活や経済活動へのインパクトは極めて大きく、改めてこれまでの常識を一変させた1年でありました。私どもの業界においても、建設投資計画の一時中断や、計画見直し、あるいは中止による影響が出ており、今年から来年にかけてさらに悪化することが予想されます。また、PC建築部会の各社へも少なからず生産調整などの影響が生じています。部会の主な事業である「PC構造審査事業」「PC部材品質認定事業」「PC部材製造管理技術者資格認定事業」「PC工法施工管理技術者資格認定事業」につきましても、審査の延期や講習会の中止、応募受験者の人数制限を行うなど、会員各社の皆様にはご迷惑をおかけしました。改めまして、この場をお借りしてお詫び申し上げます。今後の対応については、アフターコロナを見据え、オンラインやリモートでの実施などを検討してまいります。

東日本大震災の発災から、今年で10年になります。当時、被災地域での資機材、建設作業員等の圧倒的不足の中、当部会ではプレキャストコンクリート工法による災害公営住宅の建設により復興の下支えをさせていただきました。また、それ以降も毎年のように発生している台風・豪雨による風水害は、各地で甚大な被害を発生させています。さらには南海トラフ地震や大都市直下型地震への防災・減災への備えに関しても、その被害の深刻さを考えると計画的な対応が急務となっています。加えて、高度成長期時代に建設された多くの社会インフラや建造物が、老朽化してきている時期とも重なっており、政府も「国土強靱化への取

り組み」を5か年で約15兆円規模の計画として策定していくと発表しています。このような状況下において、建設業界・PC業界が果たしていく社会への貢献や役割は大変重要であり、PC建築部会としても、プレキャストコンクリートの持つ高耐震性、高耐水性、高品質、高環境性、工期短縮、などの特徴を発揮できるものと考えています。そして、これらの要請に応えるべくプレキャストコンクリート製品の活用提案検討と共に、現在当協会で認定している全国の認定PC工場（国内74工場、海外2工場）を更に拡充し、品質の維持向上と供給体制を整えていきたいと考えております。

現在、建設業界では「建設業就労者の高齢化とその減少傾向」、さらには「働き方改革」による労働時間短縮と少子化による人口減少が重なり、生産性向上が大きな課題となっています。その中でプレキャストコンクリート工法は、工場で厳密に管理された状態で製作し、建設現場に運び組み立てることで、上部躯体について現場作業員と工期が約7割削減可能となるメリットを有しております。また、最近、建設業界で普及しつつあるBIM・CIMとも関連性を持たせることで、フロントローディングによる建設業務の効率化を図ることができるようになります。そして、SDGsとの関係では、「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」「11. 住み続けられるまちづくりを」に大いに貢献をしており、「1. 貧困をなくそう」「13. 気候変動に具体的な対策を」「17. パートナリシップで目標を達成しよう」とも関連しています。このように、社会課題を解決することのできるPC建築部会でありたいと、新春に夢を膨らませています。

本年も各方面の方々へ、上記のようなプレキャストコンクリート工法の優位性などを説明してまいりたいと思います。特に、工場で製造されたプレキャストコンクリート部材の品質の高さをPRし、PC建築のさらなる発展・普及を目指してまいります。今後とも、皆様方の格別なるご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各社様の社業の益々のご発展と、今年一年の皆様方のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。